

福島再生加速化交付金（第50回）
《既存ストック活用まちづくり支援 第5回》の交付可能額通知について

「福島再生加速化交付金（既存ストック活用まちづくり支援）」について、本日、以下のとおり交付可能額を通知します。

1. 交付可能額について

今回配分額 事業費 234 百万円、国費 176 百万円
(注) 計数は精査の結果、今後変動があり得ます。

2. 交付対象事業

広野町において、空き家等の改修による公的施設整備を行う。

【広野町】

旧幼稚園舎を活用した文化交流複合施設の整備を実施。《234(百万円)》

《別紙資料》

- ・別紙：事業概要

本件連絡先
復興庁原子力災害復興班
井藤、北川
電話：03-6328-0250

福島再生加速化交付金 (既存ストック活用まちづくり支援)

事業概要・目的

- 避難指示解除区域や特定復興再生拠点区域等の復興・再生のまちづくりのさらなる進展を図るために、原子力災害による避難指示等に伴って発生した空き地・空き家等の既存ストックの状況を把握し、有効かつ適切に活用する場合に必要な取組を支援する。

資金の流れ

復興庁



12市町村等

期待される効果

- 既存ストック（空き地・空き家等）の実態把握・対策検討・所有者探索等に係る調査やインスペクションについて、既存ストックの有効活用による公的施設の整備と連携させ、一括して支援する。
これにより、空き地・空き家等の利活用・流動化を促し、避難指示解除区域や特定復興再生拠点区域等の復興・再生のまちづくりを加速化させることが期待できる。

事業イメージ・具体例

- (1) 対象地域・団体
被災12市町村及び各市町村の帰還・移住等環境整備推進法人
- (2) 対象費用
 - 空き地・空き家等の実態把握・対策検討・所有者探索等に係る調査に要する費用
 - インスペクション（建物状況調査）に要する費用
 - 既存ストック（空き地・空き家等）の有効活用による公的施設の整備に要する費用

<空き地の有効活用の例>



コミュニティガーデン(宮城県石巻市)

<空き家の有効活用の例>



住民交流拠点施設
「まち家世田米駅」(岩手県住田町)

- (3) 補助率
交付対象事業費に3/4を乗じて得られる額 等